

景観遺産の登録【第3弾】

～北但大震災からの復興を今に伝える「豊岡震災復興遺産」～

景観の形成等に関する条例に基づく「景観遺産」登録の第3弾として、来年で100年を迎える北但大震災からの復興を今に伝える「豊岡震災復興遺産」を登録します。

■景観遺産登録制度（令和3年度創設）の概要

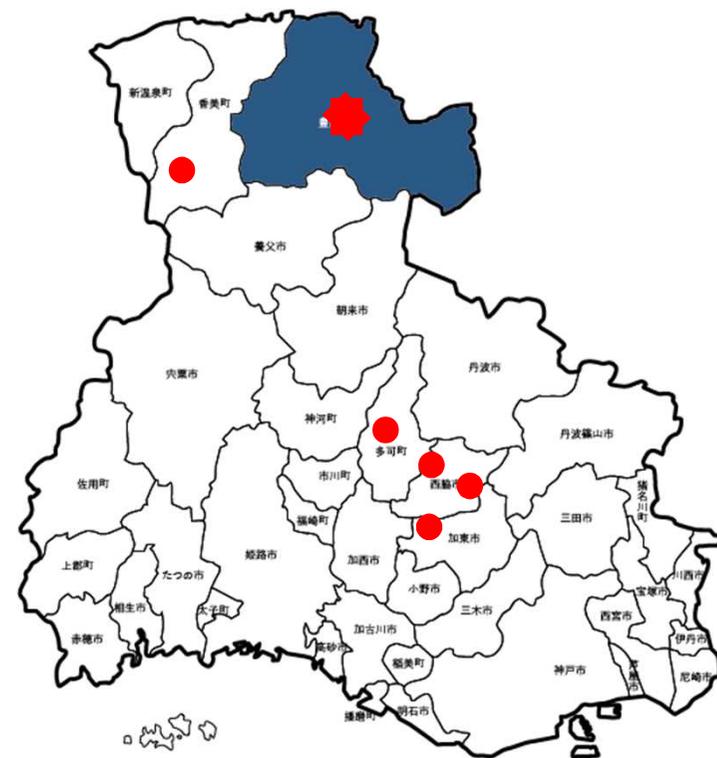
- 地域特有の景観や日常に隠れた何げない景観を「景観遺産」として登録
- ふるさと意識を啓発し、地域の活性化につながるよう情報発信

■これまでに登録された景観遺産

[第1弾] 織物産業を象徴するノコギリ屋根（西脇市、加東市、多可町）



[第2弾] “和牛の聖地”～純血種『但馬牛』のルーツ～（香美町）



- ★ 今回登録
（豊岡震災復興遺産）
- 第1弾、第2弾登録

「豊岡震災復興遺産」概要

魅力・特徴

北但大震災（1925年(大正14年)）からの復興期に建設された、都市の防火性能を高める鉄筋コンクリート造等の建築が残るまち並みは、希少性が高く豊岡中心部の特徴となっている。

登録する建造物

復興期に建築された鉄筋コンクリート造及び防火木造建築物 8件



豊岡市役所



元町通り

←至JR豊岡駅

大開通り



今後の展開

ひょうごフィールドパビリオンの認定プログラムである「北但大震災からの100年」をめぐる復興まち歩きなど、県内外の観光客を呼び込むイベント等と連携した情報発信
 ※9/1(日)開催予定の「兵庫県・但馬地域合同防災訓練(養父市)」に北但大震災復興まちづくり関連ブースを出展



ひょうごフィールドパビリオン
Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs